

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-11-02

**APM** 秋山孝ポスター美術館 長岡  
歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）

# Workshop news 003



第3回APMワークショップ

こてえ

機那サフラン酒本舗鏤絵柄 蔵書票をつくる

10月5日（土）am 11:00～pm14:45/会場：APM、蔵/参加者：4名/講師：たかだみつみ

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233  
<http://apm-nagaoka.com>



## 地域のイベントに併せて

10月5日は摂田屋地区のお祭り「おっこ摂田屋市」が開催されました。秋山孝ポスター美術館長岡（以下APM）でも第22回美術館大学の開催日でした。APM周辺も人通りが増えるという事で、第3回APMワークショップを行いました。今回はAPMと、宮内駅前に新設した蔵の2会場で行いました。

内容は摂田屋に因み、機那サフラン酒本舗・蔵の鏤絵柄の消しゴムハンコを自由に組み合わせて押し、蔵書票をつくるというものです。ハンコはあらかじめ

め当館スタッフが作成し用意しました。参加者は、ハンコを選び、押す行程を楽しんでいただきました。約30種類のハンコと12色のインクからは幾通りもの組み合わせができます。1回3枚の体験でしたが、みなさん悩みながら真剣に取り組んでいました。

## 世界に誇る文化財

鏤絵は、左官職人が鏤を使って漆喰で絵を描いたものです。機那サフラン酒の鏤絵はその美しさから日本一の鏤絵と讃えられています。十二支をはじめとする17匹の動物・霊獣と植物が描かれています。極彩色で豪華絢爛な作品ですが、一つひとつ観ていくと、なかなか愛嬌があり、愛くるしさも感じます。今回はこの中から背景等も含め約30種類の絵柄のハンコを作成し、2会場に分けて用意しました。会場それぞれで絵柄が異なるので、両会場で体験していただいても楽しめるようにしました。

## 蔵書票とは？

蔵書票とは、本の表紙や見返しなどに貼付けて所蔵者を示すための小紙片のことです。15世紀にドイツで誕生し、主に持ち主を表す紋章や図案を版画で印刷した物でした。日本でも明治時代に普及し、多くの画家や版画家が手がけた蔵書票が作られました。近年では実際に使用されることは少なくなりましたが、現在でも研究や収集に於いて人気があります。

同日に開催した第22回美術館大学のテーマが「東京装画賞について」でしたので、ワークショップも「本」に関連した蔵書票作りをしました。



機那サフラン酒 鏤絵蔵

